

滝集

滝には人を惹きつける魅力があります。水しぶきを上げながら豪快に滝壺に流れ落ちる滝の迫力は、自然の雄大さを感じさせてくれます。

一方で季節折々に表情を変える滝の優美さに、人は安らぎを感じます。春の花、夏の緑、秋の紅葉、冬の雪——色とりどりの滝とのコントラストは、一年中私たちを楽しませてくれます。

茅野市の魅力と言えば、八ヶ岳や雄大な自然がまず浮かびますが、豊かな水資源も全国有数です。それを象徴する「滝」が市内には多数存在します。車で気軽に行けるものから、登山靴を履いてトレッキングを楽しみながら向かうものまで、自分に合った滝探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。



大滝 (地図①)

滝の湯川に架かる滝。滝への遊歩道も整備されており、滝前には東屋もあります。



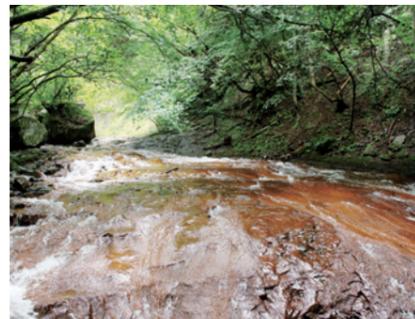
乙女滝 (地図②)

季節に応じて姿を変える人工滝。近くまで車で行くことができ、滝までの道は整備されているため、気軽に訪れることができます。



霧降の滝 (地図③)

乙女滝の上流に位置する滝。左右に分かれた見事な滝の前には小さな橋があり、ゆったりと眺めることができます。



一枚岩 (地図④)

長さ40m、幅7mの大きな岩盤の上を流れ落ちて行きます。



王滝 (地図⑤)

横谷峡の約3kmの遊歩道を進んでいくと現れる王滝。横谷観音展望台からも眺めることができます。



おしどり隠しの滝 (地図⑥)

王滝、霧降の滝のさらに上流にある滝。岩盤の重なり合いが複雑で美しい水流を作りだします。



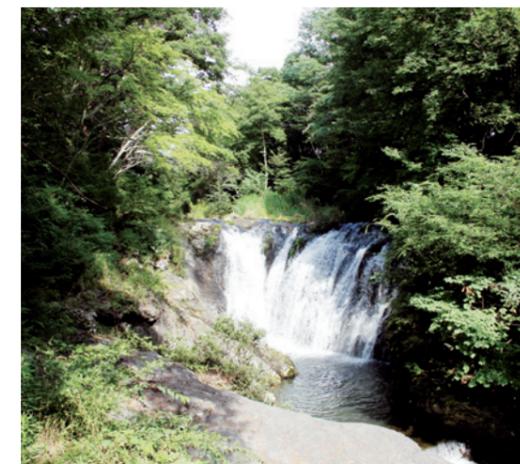
醤油樽の滝 (地図⑦)

夏沢鉱泉への道の途中に、滝へと続く入口が見えます。比較的険しい山道を進むので、トレッキングシューズなどの装備がお勧めです。



音無の滝 (地図⑧)

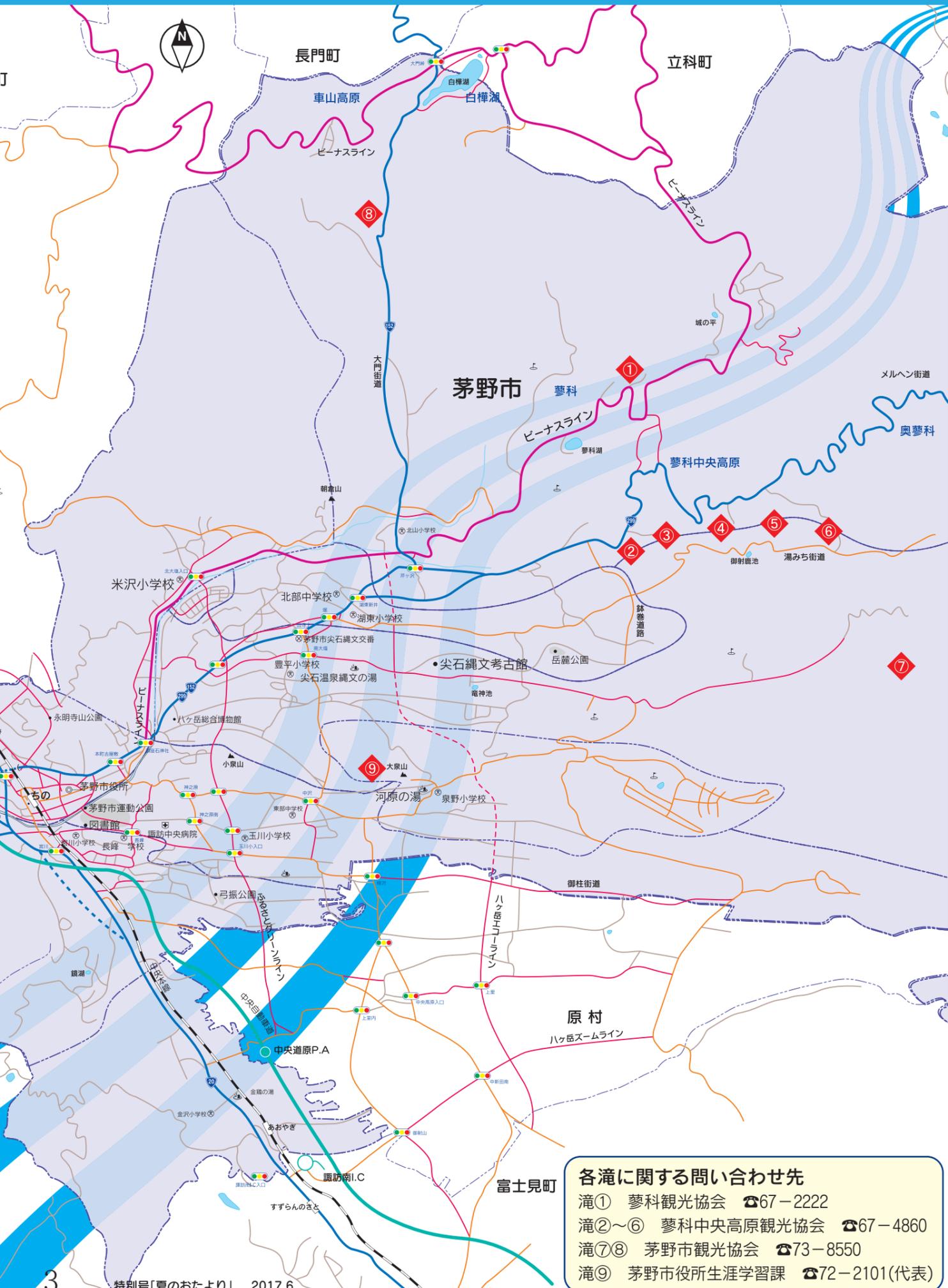
滝を作る音無川はその昔、武田信玄が大声でどなったところ、川の瀬音がなくなったことから音無川と呼ぶようになったと言われています。



多留姫の滝 (地図⑨)

滝を作る音無川はその昔、武田信玄が大声でどなったところ、川の瀬音がなくなったことから音無川と呼ぶようになったと言われています。

多留姫神社のすぐ側にある滝。つり橋からの眺めが絶景です。「多留姫」の名は、長野県史にある「梶貨伝説」に由来します。



各滝に関する問い合わせ先

滝① 蓼科観光協会 ☎67-2222

滝②～⑥ 蓼科中央高原観光協会 ☎67-4860

滝⑦⑧ 茅野市観光協会 ☎73-8550

滝⑨ 茅野市役所生涯学習課 ☎72-2101(代表)